



### 日々変わる状況の中、私たちが子供たちに与えられるものは…

校長 川上 晋

1月11日(月)に3学期が始まり、「検査の結果、陽性でした。」「濃厚接触者になりました。」という連絡が数件あり、17日(月)、18日(火)と更に増え、19日(水)には、2桁に。その後は本当に毎日、毎時間連絡が入り続けました。そして、1月28日(金)には、累計で80名を超えました。改めて学校のホームページの「重要なお知らせ」を見返してみると、時間単位で判断し、対応策を考え、保護者向けのお便り、配信メールに追われていたことを思い出します。毎日、東京都の新規感染者数を見るたびに、頭を悩ませました。保護者の皆様も、学校からの連絡が来るたびに、心配がつのったことでしょうか。そして、学校閉鎖になり、ご家庭には更に負担をおかけしました。

そして、荒川区教育委員会からの配信メールでお知らせしたとおり、2月1日(火)から12日(土)のオンラインでの授業は、出席扱いとなりました。

#### 【荒川区教育委員会からの配信メール】(抜粋)

学校を休校とすることなく、授業等を継続していくため、学校への登校者を極力減らすことで、感染者及び濃厚接触者等の発生を防ぎ、学級閉鎖を限りなく少なくしていきたいと考えております。

(中略)可能な限りご家庭からオンライン授業に参加いただき、感染拡大防止にご協力方お願いいたします。

「こんな状況だから学校閉鎖にすべきだ。」「感染は心配だけど、家庭の事情でどうしても子供を1人で置いておけない。」など様々な事情、お考えがあると思います。両方のご意見を踏まえた上での苦肉の策です。

ホームページでもご紹介しましたが、学校閉鎖期間のオンライン授業では、かなりきちんとした授業ができており、先生方も次第にオンラインでの指導に自信を付け、デジタル教科書を画面共有して、電子黒板の機能を使って書き込みをするなど工夫しています。

学校閉鎖が決まったときも「こんなふうにはできないかな。」「こうやったらうまくできた。」と情報交換やアイデアを出し合っていました。そんな先生たちの姿をみたと、「自粛期間だから仕方がない。」「対面授業でなければきちんとした授業はできない。」ということだけでなく、「今、自分たちが子供たちにできることは何だろう」と考えているんだと実感しました。

私たち、大人は、このような時代に、子供たちに何を与えられるのでしょうか。それは「我慢」なのでしょうか。それは、「やらない」ことなののでしょうか。以前にも書いたかもしれませんが、子供たちに、将来、「僕たちの子供時代は、コロナの時代だったから仕方がない。」とは言わせたくありません。子供たちの未来のために、学校も、先生方も、保護者も、近所のおじさんも、みんなが何ができるのか、こんな時代だからこそできることはないか一緒に考えていきたいと思うのです。



## 2月の行事予定

【実施できない内容もありますが、概ね、通常で予定で掲載しています。】

1日(火)	読書月間始 <b>2月12日までオンライン授業</b>	18日(金)	算数検定(水曜時程)
3日(木)	体育朝会	19日(土)	土曜授業 JICA 出前授業[6] 卒業生を送る会[し]
4日(金)	漢字検定(水曜時程) <b>【中止:返金】</b>		
8日(火)	安全指導	21日(月)	社会科見学[5]
9日(水)	避難訓練(1月分)	22日(火)	6年生を送る会 ありがとうの会
10日(木)	委員会	23日(水)	天皇誕生日
11日(金)	建国記念の日	24日(水)	ダンスクラブ発表 避難訓練(2月分)
16日(水)	音楽朝会(放送)	25日(金)	ニコニコデー 口腔健康教育[1, 3, 5]
17日(木)	縦割り班活動(朝) クラブ見学[3:6時間授業]	28日(火)	保護者会[1, 2, 3]読書月間終



## 席書会

第6学年主任 榎本 辰紀

6年生は、席書会を1月13日(水)の3、4時間目に、体育館で行いました。年末に学校で練習し、冬休みにも家庭学習で練習に取り組みました。6年生が書き上げた文字は「夢の実現」。もうすぐ汐入小学校を卒業する6年生。自分自身の「夢の実現」へ向かって心を込めて書きました。小学校で学習してきた書字についての学習のまとめでもあります。「止め」や「はらい」、「字形」、「文字間のバランス」に気を付けながら書きました。本番当日は凜とした空気の中、緊張感を保ちながら各々が集中する姿が見られました。仕上がった作品は、書き初め展として学年ごとに展示をしました。



## 薬物乱用防止教室

1月17日(月)に吉村富子先生をお招きして薬物乱用防止教室が行われました。薬物乱用の有害性・危険性等についてお話を伺いました。青少年の薬物乱用の割合は減少傾向であるものの薬物乱用をさせない環境整備など種々の取組みが必要とされており、薬物は絶対に使うべきではないと考えることの重要性を学びました。

あわせて、喫煙や過度の飲酒の危険性についてもお話いただき、薬物乱用の根絶及び薬物乱用を拒絶する「規範意識の向上」を目標としようとする機会となりました。子供たちは、薬物の危険性に改めて驚き、真剣に話を聞いていました。



## 図工部区展

図工主任 中村 優海

荒川区では、毎年1月に荒川区立小学校図画工作展覧会が開催されています。今年度の荒川区教育研究会図工部研究テーマ『「わたしからはじまる」～かんじる・ためすから広がる思い～』にそって、各小学校の作品が展示されました。

また、汐入小学校では学校内にも図工の作品を展示しています。「6年生の作品はすごい!」「自分もやってみたいな」など、子供たちの声からは造形活動への意欲の高まりが感じられます。これからもより、校内の作品展示も充実させていきたいと思っています。



## 読書月間



学校図書館部

2月1日(火)から読書月間が、始まります。1月31日(月)には、できる限り学校図書館の本(3冊まで)を貸し出しました。オンラインでは難しいかもしれませんが、下記の取り組みも工夫して行いたいと思います。

### ◎記録カード

本の題名等を記入し、1枚終わったら図書委員が作成したかわいい「しおり」をプレゼントします。

### ◎読書の木(学期ごとに取り組んでいます。)

葉っぱの形の用紙に、みんなにすすめたいお気に入りの1冊の本の題名を書いて、クラスで1本の木を作って掲示します。

### ◎読書ビンゴ

一か月かけて取り組みます。達成したらしおりがもらえます。

読書は「心の栄養」です。家族で読み聞かせを楽しんだり、お子様の音読を聞いたり、感想を家族で交流したりして心温まるほっこりした時間をどうぞお過ごしください。